いわき民報
發行所　平市田町48　電381・176・1222
いわき民報社
印刷兼發行人　登田原
編集兼發行

本格的コーヒーの味…
ブラジル
【出前迅速】
平・並木通　電990

小學兒童に完全給食
經費は月一人百二・三十圓
實施豫定來月から

GHQ好意で十月一日から平市内各小學校兒童（第五、第六小學校のぞく）に完全給食が實施される情勢に至つたので十九日午前九時から第二小に市内各小學校長、給食主任者を集め種々協議したが、なお今度の給食で準保證兒童の數も增加するとみられるが現在市内四校で設備が不足となる、これはミルク副食物として出すミルクを別個に出せばカードが各校とも一つづつ不足するのでこれは漸次改善する、値段は一食分パン二円五十八錢、ミルク二十錢、副食物三円五十錢で六円二十八錢となり月平均二十回の給食でも百二十円から百三十円となり、集金方法に就いては各校給食委員會PTA等にかけ本月末までに決めることになつている

主任者が集まり同運動の具体的實施計畫に就き協議することになつた

龍門寺だより

平市飯野の龍門寺では廿三日午後一時彼岸の法要、二時坐禪會廿六日午後一時法要說教を行う

競輪設計の一部變更
上京中の渡邊技師歸平談

競輪開催は全國的に二カ月中止と決定されこの間設備の改善、自轉等が要望されているが、平市では當初計畫と通産當局との勤告基準との間にくい違いが生じた爲十七日土木課渡部主任が上京、通産省伊藤車輛課長、自轉車振興會連合會佐々木理事長外各部課長と面接、種々建設計畫の變更すべき點に就き打合せ十八日歸平したが、その結果に就き次の如く一部設計變更が必要だと語つた

今後の競輪は觀客の氣分を柔げる方向にもつてゆく樣設備を整えるのが主眼で場内での酒賣りは禁止となる、建設變更箇所は△穴掘は外側だけコンクリートにする（當初計畫は木造建）△場内は植樹をすること△走路と立見席との間には一米の板塀の上に金網一米をめぐらす（計畫は一米の板塀だけ）△スタンドにはヨシズを張る△休憩所を設ける、工事費は增額金があるのでこの範圍内で實施する

優生保護說明會

來る二十七日午後一時から石城地方事務所會議室で平保健所管内の保健婦三十名が集まり同所植頭技師から優生保護法に就いての說明會を開く

暴行罪に問われた
松本教諭の留任運動
生徒側からたん願書

醫農高騷動事件で松本清敎諭は暴行脅迫罪として一件書類は送檢されて成行きを注目されていたが同敎諭をつねに依願し且つ尊敬していた同校生徒間に期せずして留任運動が猛然と起り去る十六日付で同校生徒三年生野尙裕君が全生徒を代表し植田町警察署及び平區檢察廳宛に左の如きたん願書を提出した

尙松本敎諭の辭表は鈴木校長が受理して居り一方縣當木主事の事件調査の結果未だ何等の指示に接して居らぬので果して今後同敎諭の進退は如何様に落ちつくかが注視の的となつている

たん願書

此の度本校に於て事實無根の事を理由とした校長敎務主任の排斥運動が起きました、此の際松本先生はあくまで中立の立場にあり此の事を円滿に解決すべく努力していました所、排斥運動派の人々の惡口雜言にあい此の穩な事態にたちいたりました、平素先生は敎育に熱心で全校生徒一同心から敬服致していました、我等は眞理を愛するものです、そしてかかる僞誤を是正し明るい學園を建設していただきたいのです、依つて先生の人格を信じ全校生徒一同は先生の留任を熱望すると共に全校生徒に呼びかけて茲に署名運動を起しました、何分寬大な御處置を願い上げます

貯蓄運動
廿二日協議

翼賛壯勇團敗正地方稅法の施行等による最近の新經濟事態に即應する貯蓄增强が頓に重要性を加えているが、九月二十一日から十月二十日までの一カ月間に亘り全國的に經濟自立促進特別貯蓄運動が展開されることになり石城郡下でも同運動に歩調を合せ二十二日午前九時から石城地方事務所會議室に管内各町村貯蓄事務主任者が集まり同運動の具体的實施計畫に就き協議することになつた

鹿島、渡邊から初供出
早場米の供出で協議

小名濱町の水野町長はピニロン工場誘致の陳情に上京中だつたが工場誘置委員一行に一足遲れて十八日歸町、十九日から役場に出勤、誘致問題について町民に報告する機會をつくりたいと次の如く語つた

誘致の見透しについては小野委員長らの報告通りだが何せ相手は算盤によつて動く會社なので今後の運動が大切、町民の中には今までの經過報告の會を開けと云うものもあるそうだがそれは極めて當然なので區長會を開き五ブロックの作況調査を行う豫定も樹てられた

町民に經過報告したい
水野町長、ピニロン誘致を語る

通じてお話するなり報告大會を開くなり考えて善處したい、倉敷レイヨンから小名濱視察にいつ來るかはまだ決つていない

講聽が五百余名
習會講照明照に義意有る終會

平照明營及會主催の第一回照明講習會は日本照明研究界の權威東芝照明課長笠原巽氏を講師に招き十九日午後一時から公會堂及び男女高校生五百余名を集めて開催され、諸關平商工會議所會頭の開會挨拶に續いて笠原氏の「電氣照明の有効について」と題する講演があり午後四時散會、同六時から市内のモデル店舗ブラジル、丸ほん等十五軒の照明狀況を視察の後同八時から本社ホールに店舗關係者廿四名を集めて座談會を開き笠原氏からモデル店舗を視察しての講評があり質疑應答の後有意義なる會を閉じた

一千五百石減收豫想
きのうの雨 稻の倒伏續出

十八日夜來からの降雨は鶴首していた農民をよろこばせはしたが、今年の稻作に稻熱が柔軟に育つた爲、風雨にたたかれて倒伏する稻が生じた、二十日朝石城地方事務所に連絡のあつた結果によれば管内町村で約四百二十町歩が倒伏した

この倒伏は全面積の五%、減收は二千五百石（反當六斗）と推定され、日照の好影響もどうやら御破算になつた恰好…而し白菜、大根、等はこの降雨で活氣ずいた、倒れた稻の對策は雨あがり後早速結束すれば被害も半減すると同事務所では話つている

畜産興業の役員會
廿二日開く

石城郡畜産興業株式會社の創立總會はこの程行い取締役に

鮫川改修續行工事陳情

植田、飯、山田村が一体となり鮫川改修期成同盟會が結成され從來屢々縣當局並に建設省關係當局者に陳情され漸く

學校職員の結核檢査

二十日から二十二日まで平保健所では管内の學校敎職員の結核豫防レントゲン檢査を行う

山藤を迎え常磐と一戰
廿五・六日

常磐炭鑛では群馬の雄山藤商店を迎え野球戰を左の日割で交えることになつた、二十五日午後三時半湯本町淺貝常磐球場、二十六日午後三時半内郷町金坂常磐球場

電話線盜難
小島地内で

十九日午後六時から翌朝八時までの間に内郷町大字小島地内六十電通省管理の電話線＝二ミリ半銅線＝二五四米（六百円相當）を切斷盜まれた

家庭用砂糖
七・八月分

平市商工課では連合區總司令部の好意により二十一日より二日間家庭用七、八月分の砂糖を配給する、配給對象は乳兒用砂糖受配者を除く、一般配給で一人當り一カ月分一斤（六百グラム）値段は三十八円六十錢、購入券は家庭用砂糖購入通帳二、三號券

配給だより

河合のピアノ

KIKUYA

平二角　キクヤ樂器店

眼鏡を拭く

▽子供は大人のマネをするのは當然である、大人のボスが英雄氣取りで居ると子供もそれをよいことに思い込み子供のボスが出來上る▽近頃こんな話をきいた、神谷から來る、學生のうち腕っ節の强いのが子供のボスとなつて市内の生徒にいんねんをつけて金品を卷き上げている、うちの子供は弱虫なものだからいつも取られてばかりいる、學校もその實態を知らないらしい▽その學生ボスは學校に來るとき本などは殆んど持つて來たことがない、何のために來ているのか判らない▽そのくせ弱い生徒の缺點を見つけ出しては脅して物を卷き上げる▽こう云うのが大人になると大人のボスになることであろう、目に見えない處でこんなことがどの學校にもあるらしい、當局は細心の注意を拂つてこんな惡風の一掃を期すべきだろう

天気予報

二十日

【今晩・明日】北よりの風强勝ちで小雨降つたり止んだりのハッキリしない冷しい天氣でしよう、海上はこの二、三日はまだ多少ウネリがあるから小型漁船は注意

工員募集
◇アンプル工　若干名
出來高拂制とし經驗者優遇する
月收五千円以上壹万円位
履歷書持參　委細面談
平市佃町二二
新星藥品工業株式會社佃町工場

さつと御氣に召す
當店獨特のドライクリーニング
完全消毒・高級洗劑使用
★お急ぎの品は超スピードで
舍榮白ドリーラン
平市田町電661

御贈答用にはゼヒ…銘茶を！
多少にかゝわらず御註文に應じます
平市かじ町（公會堂通り）電話一〇〇七
双葉園

活魚の珍味
料理
お宴會
仕出し
平市新田町電三〇四

時計の御用は
確實で
正安
定評のある
誠光堂へ
修理は迅速丁寧
平市銀座街電988

故長女ミツ子　葬儀に際しては御多忙中にも不拘御會葬被下御香料を賜し御厚志難有御禮申上候
尙生前御厚誼を賜わり候諸賢に重ねて深謝し謹んで御厚禮申上候
昭和二十五年九月二十日
平市正月町
父　難波功助
外　親戚一同

汲み前割烹仕込
一平
女中さん數名募集
小名濱町下町・電話四五一番

文政期前後の郷土俳人

零石太郎

本縣の俳諧史に手をつけてから四年になるがやっと序文が出來た丈で、若干の材料をみた位で、研究がすこしもすすまない。十年計畫位に考えて居つたが、この調子では一生かかつても出來ない位だ。最近、平諸橋氏の許で磐城の文學（俳句）という巻物を一見する機會を得た。之は文政三年に出版された俳書（書名不明）其他を表裝したもので之から郷土の俳人の名を拾い出してみると次の通りになる

平潟　はつめ　　岩城　左〇　一瓢　白種
岐菱　李方　ますめ
晒花　其範　白雪
素〇　きはめ　玉山
龜友　左席　甫山
ヲナ　芋帆　魯齊
タヒラ　默釣
イヘキ　フク水
ヲナ　しび　花石　龍
山　梅隣
ユモト　三泉
カヘヤ　省左　五風　省帳
紫鳳　兎月　其詠
風等で　福島　角田　船岡　現在の植田中學校の下）の住職であつた櫻哉（本名、磐多臣夫）とは同人でないらしい別人であるとすれば柱田の櫻哉は二代櫻哉であろう、柱田の櫻哉は明治二十八年に六十一才で歿して居るから逆算すると天保五年の生れとなる、この俳書の出來たのは文政庚寅春であるから年代があわぬここの所再考を要するものである。

以上諸橋氏の許でみた俳書を簡單に紹介したのであるが今一貫　寮居　しや
くめ
これらの俳人は殆んど分つていない。ただ平潟のはつめは何かでみた記憶のある女流俳人でしびは小名濱諏訪神社小名川氏の曾祖父に當る方で相當の俳人であつた、三泉は湯本油屋として何かの俳書にでて居つた、カヘヤの俳人については當地の山下率寧子氏に照會中である、默釣は『さき玉』という俳書に平加藤氏としてある。

この外著名な俳人としては須賀川の多代女　相馬鶴島の鬼

大時化で怒濤逆巻く

小名濱一部に避難騒ぎ

十九日正午ごろから小名濱では突然海上が時化はじめ怒濤は防波堤を呑み港内は大荒れとなつた、このため小名濱水難救護會では非常サイレンを連續に吹鳴し在港船の警戒を嚴重にするよう指示したが、折からの滿潮ときにあたつていたため午後はますますひどく一米以上の高潮となり臨港鐵道裏側ならびに日本水素東側、港務所から魚市場に通ずる住宅、倉庫數十戸にも海水が浸水し特に臨港裏側の住宅部落では避難する騒ぎを演じまた三千トン岸壁は波浪が洗い荷揚、荷積みのため置いた

ユークス、ドロマイトも一部を流失、臨港の埠頭線及び魚市場線は何れも怒濤のため一部が流されて使用不能となつた、小名濱海上保安部の調査では幸い風雨がなく晝間の時化だつたため沈沒船はなくて濟んだが突然の大風だつたため町民もすつかり驚いた、なお小名濱海上保安部配屬の巡視船うずら（百二十トン）は怒濤を冒して午後二時半ごろ出港したが山なす波浪にもみくちやにされ一時は乘組員が海中にふり落されたのではないかと大騒ぎとなつたが無事だつた

漁船三隻沈沒

江名で救助隊出動

十九日の時化で江名町中の作港に繫留の中小名濱町竹町芳習運四郎氏所有揚繰船第一運德丸（二八トン）第二運德丸（二八トン）並に運搬船（二九トン）の三隻が座礁沈沒したが小名濱から救助隊が出向いて引揚作業を行つた

測候所談

今度の大時化について小名濱測候所では次の如く發表している

◇…ミセイサ台風（九百八十ミリバール）が正午ごろ本縣の百五十キロ沖合を通過したために十一時半から海が荒始めたもの、十九日朝以來勢力が弱つたため十八日午後九時半から十九日午前十一時までに六九・八ミリ（邸當り一石二斗七升）の降雨があつただけで十九日の正午は北々西十米一の風が吹いた程度だつた

◇…海が急激に荒れた理由は台風の針路に當つていた地方が氣壓の低壓部になつていたため台風が來るまで極めて平穩だつたものこう云う場合は通過後が非常に荒れるもので普通の台風の型とは一寸違つていたわけでよくこう云う場合がある、丁度滿潮に差かりあげ潮になつていたので一層荒れた

◇…波浪の性質としては『怒濤すこぶる高し』の部類に入つているが午後三時には氣象特報は解除した

佐藤船長死亡す

突風に煽られ轉落

江名町字北町福惠丸（二十八トン）船長佐藤福次郎氏（四三）は十九日午前十時頃小名港に入港中の同船を江名に廻航さすべく呼び寄せたが折からの突風の爲風波高く江名港への入港は危險視されるに至つたので江名町漁業會二階屋根に上つて『入港するな』との手旗信號を送つている中突風に煽られ約四間下のコンクリート岸壁に轉落同夜十一時頃死亡した

八學區毎に補導懇談會

常磐中で

常磐中學校では青葉、寶海、東、辰ノ口、台ノ山、八仙、淺貝、琵島、龍ヵ澤の八學區毎に職員、PTA、補導會の役員が參集し生徒兒童の社會教育補導に萬全を期することになり十月三十一日まで八學區順次に懇談會を開催することになつた、尙永山校長は懇談會に依り學校PTAの親睦を圖り連絡を密にして兒童教育の科學的基礎を確立し積極的な活動の前提にすると語つている

菊田北部の町村長會議

菊田北部の町村長會議は十八日上遠野村役場で開催、審議事項は

一、十月一日實施される國勢調査に關する件
一、地方稅の一部改正に關する件
一、町村稅務係員の待遇改善の件

五万石の用材發見

放牧採草地を調査

植田營林署で解放している放牧地（採草地を含む）は完全に使用されているか何うか、さらに牧野として不適かどうかに就て去月末三日間に手入れもせぬため雜木が繁茂し用材として伐採可能な立木は五万石は下らぬと見込まれ貸付せる放牧總面積は二千八百町歩で內一千七百五十六町歩は殆んど手入れせず原始林的現狀である、左に町村別に解放內譯を記せば

▲田人村一六六八町歩內一〇三〇町歩放牧地、實施使用放牧地八五七町歩內五三町歩採草地一〇二一町歩▲遠野村七八二町歩內五九八町歩放牧地使用放牧二八七町歩解放採草地四九五町歩內五五町歩解放▲川部村九二町歩內七〇町歩放牧地採草地を含む▲上遠野村一七町歩放牧地採草地を含む▲岩崎村四一町歩放牧地

此の調期的調査に依つて兎角等閑視をされていた放牧地帶も今後は有效適切に利用され而かも五万石の立木が產み出された事は共同調査の效果ともいう可きであろう

放浪癖からの家出です

父親語る

既報＝去る十日家出して平驛公安室に補まり取調べられた結果母が余りに過酷だつたことを係官に漏らした平市研町四三三浦昭夫（八ツ）ちやんの父親は十三日夜本社を訪問『母が冷たくて家出したのではなく、この子は私が兵隊に行つていた當時母親もないので東京の知人にあずけたがここは戰災にあいこの時から放浪癖が生じ平に來てからも十數回家を飛出した位で、一時ある處に養子に出したが都合で夕引取つたこともあるも』と母の過酷からではなく吾が子の放浪癖からであると語つた

呉服屋荒し送檢

勿來町大字酒井字堀の內二九農山本榮藏（二一）は同町大字窯田字白山呉服商渡邊勝醫さん方に去月二十六日午後十時半頃侵入、人絹ボーラ十五ヤール（三千円相當）を窃取した疑いで十九日勿來町署から書類送檢された

平文化劇場に賊

平市字紺屋町四二平文化劇場支配人八木昭一（二三）さんは十八日夜劇場事務所內から白シャツ（五百円相當）を窃取された

ケーブル線泥三人組に判決

赤井村大字赤井字畑子澤無職今田光藏（二〇）同字無職野俣正（一九）同村字後口無職荻野照男（一八）等三名に係るケーブル線窃盜事件の公判は十八日平簡裁で開き吉井判事から今田、野俣に懲役一年六カ月、荻野に懲役八カ月執行猶豫三年の判決言渡しがあつた、右三名は共謀で同村森下茂方からケーブル線四千米（九千円相當）を、更に今田は野俣と共謀で同村農協組の古靴外九十九點（一万八千円相當）を窃取したもの

三人組トラ荒れて送檢

茨城縣多賀郡平潟町東町漁夫鈴木茂（二一）同鈴木武（二一）の三名は飲酒銘ていの上十四日午後十時半頃勿來町大字九面字九浦町八二特殊飲食店僕芳松二さん（三六）方に亂入、『金の一文もないが酒を飲ませて一週間泊めて呉れ』と座敷により込み新わられるや『生意氣だ勿來町署員に檢擧され、十六えていろ』と鏡子、ガラス戸一日身柄送檢された

税金と家賃に困る

私は一引揚者で借家借金して小さな商賣をして居ますが、能力不相應の課稅と家賃と借金の利子で困つています、それでいつも滯り勝ちです、此の場合家主に對し『稅金を納めなくてならないから家賃、利子を拂いません』又稅金の方には『家賃と利子を拂わなければならぬから稅金は拂えません』と云つたら良いでしようか、思案に餘つて個相談申し上げます、各役所は不當な課稅をして一歩も引きません

回答　無一物で引揚げた貴方の現在の環境には御同情申しトげます、然し拂うべき性質の金は當然支拂うべきでお尋ねのようなことは理由にはならないでしよう、不當の課稅なら稅務相談とか異議申立の途はあるでしよう

（編集係から）

○…東北海運局小名濱支局では今月になつてから船名の變更を申出て來たものが十五件に達したのでこれからの船名變更は認めないことにするとこの程關係者に注意している

○…同局の話によるとこれは最近の不漁續につけ込んでインチキ祈禱師がハマに橫行、姓名判斷學の惡用をし船名を變更すれば必ず魚がとれるとお告げを出すために船名變更屆が澤んになつたものだと云う

○…このため同局では船舶原簿、國籍證書、登錄關係等の書替に頭を痛めている

◆推撰茶◆
味と香りの
『川柳』
一〇〇匁二付　百參拾円
山登園
平市大町通り　電話五三〇番

金物一般
マルヘイ
平市銀座電一四

皮膚科　性病科　泌尿器科
江尻醫院
平市材木町（文化劇場ウラ）
江尻伊三郎
電話一四八番
【診療時間】午前八時ヨリ　午後八時マデ

風味　やぶ蕎麥
別製　ちらしずし
江戸前　立喰　壽し
出前迅速　新扇屋
平市中央通り電886

外科
肛門科
上田醫院
平市南町（平局裏通）
電話　二一九番

洋服洋品服地
秋の……替ズボン
特別奉仕中
★夜間營業を致して居ります★
進　丸進
平市銀座通

外科
泌尿器科
性病科
眞木醫院
平市南町（公會堂通）
電話　一一九五番

VII VI V IIII III II I　VIII IX X XI XII　1 2 3 4 5 6 7　12 11 10 9 8
精工舍の時計
平一　トキワ時計店

ダルマ
新型秋の靴
平市銀座通
電1104

21日より5日間
コロラドの谷に相抱く血の接吻！
悲壯の大西部劇
死の谷
ジョエル・マツクリー　ヴアージニア・メイヨー
スクリーンの明るい
聚樂館

JOCP　ラジオ　JOHQ　【21日】
ローカル　郡山放送